



静岡県文化プログラム磐田プレ公演

# Sullaby ララバイ

詩と舞踊と音楽による小宇宙

2019.9.23 月 祝

磐田市民文化会館

開場 / 14:30 開演 / 15:00

出 演 / 静岡県現代舞踊協会(佐藤典子舞踊団・付属バレエ教室)

Karasawa dance crew

入場料 / 大人 ¥2,500

全席  
自由

高校生以下 ¥1,500

■3才未満のお子様の入場はご遠慮ください。

[監修]佐藤 典子 [演出]大岡 淳 [作曲]渡会 美帆 [テキスト]大岡 信

海外ゲスト Cast



[中国]  
浙江芸術学校



[韓国]  
忠清南道舒川郡  
子ども舞踊団



[モンゴル]  
セレンゲ県マンダル郡  
太陽の物語舞踊団

Dancer



大柴 拓磨



大前 光市



金刺 わたる



中田 一史  
(GENESIS ART COMPANY)

Actor



奥野 晃士  
(SPAC)

Singer



鈴木 美穂

Music

「帆楽伶奏団」(はがくれいそうだん)

渡会 美帆 (作曲・トイオーケストラ)  
古川はるな (フルート・ビックロ)  
漆畠 孝亮 (オーボエ)  
生駒 宗煌 (チェロ)  
石川 裕子 (マリンバ・ヴィブラフォン)  
皆川 育代 (ピアノ)

チケット取扱い  
7/15発売開始

\*磐田市文化振興センター.....TEL0538-35-6861  
\*ららぽーと磐田 1F 磐田市情報館.....TEL0538-38-3974

[主催] 磐田プレ公演実行委員会

[共催] 静岡県文化プログラム推進委員会・磐田市

[後援] 静岡県・静岡県教育委員会・静岡県文化協会

# ララバイ Sullaby

ミクロコスモス  
詩と舞踊と音楽による小宇宙

## 静岡県文化プログラム -地域から発信する舞台芸術-

オリンピック憲章に「オリンピズムは、スポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探求するもの」と謳われています。

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会についても、2014年秋の全国知事会議において、川勝平太静岡県知事の提言により、日本全国で「文化プログラム」を展開する方針が採択されました。

これを踏まえ静岡県は、2016年に「静岡県文化プログラム推進委員会(鈴木壽美子委員長)」を立上げ、「地域とアートが共鳴する」をテーマに様々な取組を進めています。

当磐田プレ公演実行委員会も県推進委員会の趣旨に賛同し、活動を開始しました。振り返れば1999年第2回シアターオリンピックスの企画に協力し世界最先端をいくダンス2作品の誘致に成功、その後も「磐田を舞台芸術の発信地に」と願う多くの市民の思いを一つに活動してまいりました。

今回の、スポーツと両輪をなす豊かな「舞台芸術」の公演を、ぜひお楽しみください。

磐田プレ公演実行委員会 委員長 高木 昭三

### PROGRAM

#### 第I部

言葉や見た目がちがっても…握手をしよう。

目にみえない 優しい心をとどけよう。

たまゆらの時 地球に生きる私たちだから…

#### A. 明日にかける橋 ~世界の子ども達とともに~

[中国] 浙江芸術学校

[韓国] 忠清南道舒川郡子ども舞踊団

[モンゴル] セレンゲ県マンダル郡太陽の物語舞踊団

[日本] 佐藤典子舞踊団付属バレエ教室

#### B. シエイク・ハンド ~怪獣 O…どこからきたの?~

大前 光市

Karasawa dance crew

佐藤典子舞踊団付属バレエ教室

#### 第II部

静岡県出身の詩人・大岡信。作品の朗読と書き下ろし楽曲の演奏、そして舞踊により、そのメッセージを伝える。

#### 故郷の水へのメッセージ ~大岡 信の詩想から~

大柴 拓磨 大前 光市 金刺わたる

中田 一史 (GENESIS ART COMPANY)

佐藤典子舞踊団 (静岡県現代舞踊協会)

[朗読] 奥野 晃士 (SPAC) [歌] 鈴木 美穂 [演奏] 帆楽伶奏団

大岡 信 (おおか・まさと) 1931~2017

詩人・評論家。静岡県三島市生まれ。中学時代から作歌・詩作を行う。1980年『折々のうた』で菊池寛賞を受賞。2003年文化勲章受章。詩集『記憶と現在』など著書多数。

#### 会場のご案内

#### 磐田市民文化会館

磐田市二之宮東3-2 Tel 0538-35-6861

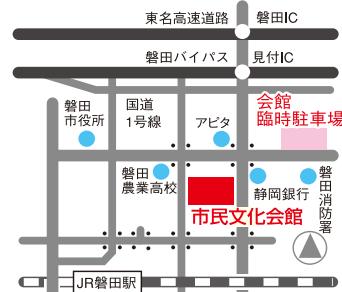
〈電車でお越しの場合〉

JR磐田駅北口下車、駅前の信号を右折し、

2つ目の信号を左折。徒歩約12分(900m)

〈駐車場について〉

磐田市民文化会館用に110台分、磐田市文化振興センター用に54台分ございます。満車の場合には、徒歩8分程度の場所に臨時駐車場300台分がございますので、そちらへ駐車してください。



## 静岡県文化プログラム磐田プレ公演



### GUEST

#### 海外ゲスト

##### [中国] 浙江芸術学校

浙江青年実験芸術団は2004年7月1日に創立。浙江芸術職業学院に属し、団員はすべて学校の演劇、音楽、舞踊学部の先生と在校生で構成。芸術団は複数の舞台芸術を一体化し、舞台美術の専門チームも持っている。

日本、アメリカ、ヨーロッパ、東南アジアの諸国と中国の香港、マカオ、台湾へ公演を行い、広範な影響力を持つ。

1990年代以降、静岡県日中友好協会の招待によりこれまでに17回静岡県を訪問、巡回公演を行っている。

##### [韓国] 忠清南道舒川郡子ども舞踊団

韓国中央部、忠清南道(チョンチョンナムド)の舒川(ソチョン)郡に位置する舒川郡立舞踊団や伝統芸術団「魂」から作品創作や韓国舞踊の指導を受けている子ども舞踊団。今回は磐田プレ公演のための選抜オーディションを経て、豊かな性質をもつ8歳から13歳までの10人の子どもたちが選ばれた。

忠清南道の美しい自然と数千年の歴史の中で受け継がれてきた、韓国の伝統文化遺産を韓国舞踊で美しく表現する。

##### [モンゴル] セレンゲ県マンダル郡太陽の物語舞踊団

2009年にバトルガ・オドントヤ文化功労者により設立。バトルガ・オドントヤ氏は、全国から認められたコレオグラファー(振付師)である。現在、56名の舞踊者が所属しており、モンゴル国を代表する舞踊団。

国内外で多くのコンサertoツアーや大会に出場している。近代ダンスを民族舞踊へ取り入れた独自な舞踊文化を発展させていることが当舞踊団の大きな特徴となっている。

#### 国内ゲストダンサー

##### 大柴 拓磨

(おおしば・たくま)  
フランス国立バレエ・オペラ座バレエ団、ボルドー・オペラ座バレエ団で活躍。帰国後、様々なジャンルの舞台公演に出演、コロクル受賞歴も多数。  
ベジャールダンサー・小林十市との共演「アウスト・メフィスト」演出・振付。第36回青樹祭では皇太子殿下の御前で踊る。佐藤典子舞踊生活65周年記念公演作品「アボロンとフェートン」の主役アボロンと「金絲雀(カナリヤ)」の運命を踊り、恵まれた容姿と幅広い表現力で観客の心をつかむ。

##### 金刺わたる

(かねさし・わたる)  
東京シティーバレエ団特待生として在籍後、コンテンポラリーダンスを主軸に、アーレ・カオヌスで学ぶ。  
現在、芝居やモデルとしても活動。Dance Complex 2008 優勝。2013年佐藤典子舞踊生活65周年記念公演作品「アボロンとフェートン」の主役アボロンと「金絲雀(カナリヤ)」の運命を踊り、恵まれた容姿と幅広い表現力で観客の心をつかむ。

##### アクター(朗読)

##### 奥野 晃士

(おくの・あきひと)  
2000年よりSPAC-静岡県舞台芸術センター所属。Noism 金森穎美演出振付の劇的舞踊や佐藤典子舞踊団への出演で舞踊公演のジャンルを超えた新たな取り組みでも注目を集め。大岡淳演出のSPACロビー企画「朗読とピアノの午後」での活動をもとに「勧説(どうどうく)」を開発。『歴史演談』など「街」と「演劇」を結び付けた「大乗劇」を目指す。

##### 作曲・演奏

##### 渡会 美帆

(わたらい・みほ)  
東京音楽大学作曲專攻卒。作曲を有馬礼子氏に師事。様々なアーティストや舞台俳優とのコラボ作品の音楽を多数手掛ける。「15年SPAC-静岡県舞台芸術センター本公演『空、空を飛ぶ』(演出:大岡淳)音楽監督。近年は静岡や日本の伝承音楽をモチーフにした楽曲の創作を積極的に試みている。今回の公演に際し「帆楽伶奏団」を結成。

##### 監修

##### 佐藤 典子

(さとう・のりこ)  
現代舞踊作家。石井小浪に師事。『NEW!!わかふじ国体』、第36回全国国体舞踊祭等、国内外への舞台芸術発信で高い評価を受ける。87年静岡県文化奨励賞、91年静岡県知事表彰、98年文部大臣表彰、2011年度春の叙勲「旭日双光章」受章。2018年(一社)現代舞踊協会第35回江口隆哉賞受賞。平成29年度第35回江口隆哉賞にかかる文部科学大臣賞受賞。全日本洋舞協会会長、静岡県現代舞踊協会会長、中国浙江芸術職業学院名誉高級講師。

##### 大前 光市

(おおまえ・こういち)  
交通事故により左足膝下を切断。後もプロダンサーとして活躍。NHK番組「きっといい」でブレイクスルー!などに出演。2013年佐藤典子舞踊生活65周年記念公演作品「金絲雀(カナリヤ)」の主役を務め、絶賛を博す。2016年オロ・パラリンピックフィナーレに出演、世界の注目を集め。2017年NHK紅白歌合戦にて平井堅と共演。

##### 中田 一史

(なかた・かずみ)  
2000年ミラノ・スカラ座バレエ学校卒業。その後、ノルウェー国立バレエ団、トスカーナ州立バレエ団、チリ・サンティアゴ市立歌劇場バレエ団で活動。2007年に帰国し、神戸を拠点に活動。ジャンルに囚われない活動を展開する一方、振り付けの提供や公演のプロデュースも手掛けた。また、後進の育成にも力を注いでいる。GENESIS ART COMPANY 主宰。

##### シンガー(メゾソプラノ)

##### 鈴木 美穂

(すずき・みほ)  
英国ウクライフ・カレッジ卒業。エリザベス音楽大学宗教音楽学科オラトリオ・カンタータコースを経て、同大学音楽研究科宗教声楽専攻修了。声楽を故鈴木仁、ウーヴェ・ハイルマン、波多野陸美の各氏に師事。これまでヴィヴァルディ、ヘンデル、ババーセルなどのバロック時代の声楽作品のソリストを務める。

#### 出 演

##### 佐藤典子舞踊団・付属バレエ教室

石井淳・小浪兄妹の系譜「舞踊詩」を最も色濃く受け継ぐ。86年発足。以後、ニューヨーク・中国公演、NEW!!わかふじ国体等、国内外の公演活動に参加。近年ではゲストダンサーとの共演作品の舞台も増えている。

##### Karasawa dance crew

唐澤つよしがダンスの世界チャンピオンになった後に立ち上げた、ストリートダンスの精神上との個性を大切にする団体。個性は人の宝であり先人から繋ぎ未来を切り開く希望。静岡県藤枝市へ掛川市を拠点に活動。

#### 演 出

##### 大岡 淳

(おおか・まこと)  
演出家、劇作家、批評家。1970年兵庫県生まれ。早稲田大学第一文学部哲學科卒修後、現在、SPAC-静岡県舞台芸術センター文芸部スタッフ、静岡文化芸術大学非常勤講師。河合塾コスモ東京校非常勤講師を務める。知的で愉快で挑発的なエンタテインメントを目指し、演劇・人形劇・オペラ・ミュージカル・コンサート等を幅広く手がける。編著に『21世紀のマダム・エドワルダ』(光文社)、訳著に『三文オペラ』(共和国)がある。